

南海トラフ地震発生帯掘削の7年：達成と教訓 7 years of NanTroSEIZE: Achievements and Lessons Learned

木下 正高^{1*}; Tobin Harold²
KINOSHITA, Masataka^{1*}; TOBIN, Harold²

¹ 海洋研究開発機構, ² ウィスコンシン大
¹JAMSTEC, ²Univ. Wisconsin-Madison

南海トラフ地震発生帯掘削 (NanTroSEIZE) が 2007 年 9 月に開始以来、6 年経過した。13 地点で掘削、これまで延べ 170 名超の研究者が「ちきゅう」に乗船した。4 ノットを超える黒潮下でのライザー掘削、東北地震による破損など、様々な困難を乗り越え海底下 7km の断層固着域に向けて掘削を進めている。本発表では、NanTroSEIZE のこれまでの掘削実績、科学成果、今後の展望について概観する。

キーワード: IODP, ちきゅう, 固着域, 地震発生メカニズム, 南海地震
Keywords: IODP, Chikyu, seismogenic zone, Nankai Trough